



<PRESS RELEASE>

2012年3月5日

日本唯一の FIFA 公認 U-12 国際サッカー大会！
“**ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN**”大阪会場予選を実施！
熱闘の末、世界へとつながる決勝大会進出 4 チームが決定！！
～大阪会場予選 大会結果～

ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN 実行委員会

「ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN」(特別協賛:ダノンジャパン株式会社、ダノンウォーターズオブジャパン株式会社)は、3月4日(日)、大阪府堺市の J-GREEN 堺において、今年の熱戦の幕開けとなる大阪会場予選を開催いたしました。ハイレベルで白熱した激闘の末、サザンウェイブ泉州フットボールクラブ(大阪)、府中新町 FC(東京)、STAYCOOL FC(大阪)、アスペガス生駒フットボールクラブ(奈良)の4チームが東京で行われる決勝大会へと進出することが決定いたしました。

大阪会場予選には、関西圏を中心に、福岡、香川、石川、東京など全国から合計 32 チームが参加し、予選リーグ、決勝進出チーム決定戦を行いました。当日は、大会アンバサダーである北澤豪さんや出場した伏山台 FC の OB である元日本代表選手 宮本恒靖氏も会場に駆け付け、あいにくの冷たい雨の中にも関わらず、各チームとも世界大会につながる決勝大会への切符をかけた熱戦を繰り広げました。その結果、サザンウェイブ泉州フットボールクラブ(大阪)、府中新町 FC(東京)、STAYCOOL FC(大阪)、アスペガス生駒フットボールクラブ(奈良)の4チームが3月31日(土)・4月1日(日)に東京(駒沢オリンピック公園総合運動場)にて開催される決勝大会へと駒を進めることになりました。

「ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN」は、日本で唯一の世界につながる財団法人日本サッカー協会後援の U-12 サッカー大会です。決勝大会を勝ち抜いた優勝チームは、「ユーロ 2012」の開催地でもあるポーランドで今年秋に行われる世界大会へ日本代表チームとして出場します。世界大会である「ダノンネーションズカップ」は、U-12 世代の“世界一”を決める FIFA 公認国際サッカー大会で、世界 40 カ国の代表チームによるハイレベルな試合が行われます。今後も、各予選大会、決勝大会と熱戦が続くこの「ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN」に是非ご注目下さい。

<ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN 大阪会場予選 大会結果>

- 大会名 : ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN 大阪会場予選
- 開催日時 : 2012年3月4日(日)
- 開催会場 : J-GREEN 堺(堺市立サッカー・ナショナルトレーニングセンター)サッカーフィールド
- ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN 決勝大会進出チーム
 - ◆ サザンウェイブ泉州フットボールクラブ(大阪) ◆ 府中新町 FC(東京)
 - ◆ STAYCOOL FC(大阪) ◆ アスペガス生駒フットボールクラブ(奈良)

※上記4チームは、3月31日(土)・4月1日(日)東京・駒沢オリンピック公園総合運動場で行われる決勝大会へ進出

<本件に関するお問い合わせ>

ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN PR 事務局
担当 株式会社フルハウス 山下・佐野

Tel:03-5413-0293 Fax:03-3401-8085 E-mail s.yamashita@fullhouse.jp

大会当日のご連絡先: 080-5227-9406(山下)



大阪会場予選 大会レポート

「ダノンネーションズカップ2012 in JAPAN」の大阪会場予選大会が3月4日、J-GREEN堺で開催された。

朝早くから行われた開会式——。東日本大震災の犠牲者を悼み黙祷が捧げられ、その後、応援に駆けつけた元日本代表の宮本恒靖氏から選手たちへ激励の言葉が送られた。開会式終了後には、第1試合—治田西サッカースポーツ少年団（滋賀県）対M. FC高松 Jr.（香川県）の試合で宮本氏がキックオフセレモニーを行い、大会の幕は開いた。寒さと雨が重なる悪天候の中、2面のピッチをそれぞれ2つに分け、合計4試合を同時に進行していき、熱戦が繰り広げられた。

宮本氏の出身チームは、今大会に出場の伏山台フットボールクラブ（大阪府）。「監督やコーチは代わったが、数年前から交流もあり、去年は初蹴りのイベントにも参加した。僕のときのチームは市大会で優勝できるかどうかのチームで、ポジションはフォワード、点取り屋でした（笑）」と思い出を語った宮本氏。子どもたちに伝えたいことはという質問に対しては、「サッカーに真剣に取り組んでもらいたいです。例えば、1つのプレーが上手く行ったり、1つの試合に勝ったりと、成功することでまた自信がついて、それ以外の生活にもいい影響が出てきます。サッカーに熱中して、何か自信になるようなものを見つけてください」と心強いメッセージを授かった。

試合では数々のナイスプレーと白熱した戦いが披露された。最終的に代表決定戦を勝ち上がったのは、以下の4チーム。

サザンウェイブ泉州フットボールクラブ（大阪府）、府中新町 FC（東京都）、STAYCOOL FC（大阪府）、アスベガス生駒フットボールクラブ（奈良県）。

サザンウェイブ泉州フットボールクラブは、リーグ最終戦の敗戦から立ち直り、粘り強い守備で玉川 FC を抑え、2-0で勝利。東京から参加の府中新町 FC は、リーグ戦からの4試合で16得点・無失点と力を見せつけていた西宮少年サッカースクールの攻撃力を巧みに封じ込め、2-0で逃げ切った。リーグ戦では0-2で敗れた京都紫光サッカークラブとの再戦となった STAYCOOL FC。1点を争う好ゲームで0-0からPK戦でリベンジを果たし、見事全国大会の切符を勝ち取った。リーグ戦でガンバ大阪門真ジュニアと同成績となり、抽選で2位抜けとなったアスベガス生駒フットボールクラブは、1回戦で5-0と圧勝した勢いに乗り、京都田辺 FC スポーツ少年団にも3-0と圧勝し、鉄壁の守備で大会5試合を無失点で終えた。

閉会式では大会アンバサダーの元日本代表、北澤豪氏から決勝大会進出の認定証が代表4チームに贈られ、ナイスプレー賞の選手の中から MVP 賞には京都紫光 SC の倉貫直人選手が選ばれ、記念の盾が贈られた。北澤氏は大会の無事終了を選手、審判、スタッフ、応援された方々に感謝され、選手たちには、選手として世界を目指すと同時に、『自分を作ること』が大切であること、それには健康や勉強も大事であり、勝っても負けても結果を次に活かしてほしいと、言葉を送り、大会を締めくくった。



予選リーグ

A	チーム名	ニホソックワフスサッカー部	ササニホソックワフスサッカー部	長尾ウオーズフットボールクラブ	アンドリュースFC	勝分敗	勝点	得点	失点	得失点差	順位
A 1	スポーツクラブカスティージョ水口(滋賀県)	/	0 ● 1	0 ● 3	0 △ 0	0 勝 1 分 2 敗	1	0	4	-4	4
A 2	サザンウェイブ泉州フットボールクラブ(大阪府)	1 ○ 0	/	1 ● 2	1 ○ 0	2 勝 0 分 1 敗	6	3	2	1	2
A 3	長尾ウオーズフットボールクラブ(兵庫県)	3 ○ 0	2 ○ 1	/	2 ○ 0	3 勝 0 分 0 敗	9	7	1	6	1
A 4	アンドリュースFC(大阪府)	0 △ 0	0 ● 1	0 ● 2	/	0 勝 1 分 2 敗	1	0	3	-3	3

B	チーム名	滋賀県サッカー少年団	M.FC高松Jr.	玉川FC	大阪府サッカー少年団	勝分敗	勝点	得点	失点	得失点差	順位
B 1	治田西サッカースポーツ少年団(滋賀県)	/	0 △ 0	1 ● 4	2 ○ 0	1 勝 1 分 1 敗	4	3	4	-1	3
B 2	M.FC高松Jr.(香川県)	0 △ 0	/	1 ○ 0	1 ○ 0	2 勝 1 分 0 敗	7	2	0	2	1
B 3	玉川FC(大阪府)	4 ○ 1	0 ● 1	/	1 ○ 0	2 勝 0 分 1 敗	6	5	2	3	2
B 4	大阪市サッカースクール2001白鷺ジュニア(大阪府)	0 ○ 2	0 ● 1	0 ● 1	/	1 勝 0 分 2 敗	3	0	4	-4	4

C	チーム名	DREAM	府中新町FC	FCレオーネ	星稜ジュニアサッカークラブ	勝分敗	勝点	得点	失点	得失点差	順位
C 1	DREAM(大阪府)	/	0 ● 4	3 ○ 0	1 △ 1	1 勝 1 分 1 敗	4	4	5	-1	3
C 2	府中新町FC(東京都)	4 ○ 0	/	7 ○ 0	1 ○ 0	3 勝 0 分 0 敗	9	12	0	12	1
C 3	FCレオーネ(大阪府)	0 ● 3	0 ● 7	/	0 ● 7	0 勝 0 分 3 敗	0	0	17	-17	4
C 4	星稜ジュニアサッカークラブ(石川県)	1 △ 1	0 ● 1	7 ○ 0	/	1 勝 1 分 1 敗	4	8	2	6	2

D	チーム名	浜寺昭和FC	EXE90FCJr.	精華FCスポーツ少年団	西宮少年サッカースクール	勝分敗	勝点	得点	失点	得失点差	順位
D 1	浜寺昭和FC(大阪府)	/	0 ● 7	1 ● 2	0 ● 6	0 勝 0 分 3 敗	0	1	15	-14	4
D 2	EXE90FCJr.(大阪府)	7 ○ 0	/	4 ○ 1	0 ● 2	2 勝 0 分 1 敗	6	11	3	8	2
D 3	精華FCスポーツ少年団(京都府)	2 ○ 1	1 ● 4	/	0 ● 5	1 勝 0 分 2 敗	3	3	10	-7	3
D 4	西宮少年サッカースクール(兵庫県)	6 ○ 0	2 ○ 0	5 ○ 0	/	3 勝 0 分 0 敗	9	13	0	13	1

E	チーム名	センアール神戸Jr.	ソレストレージャNARA2002	吹田千里FC	なみはやFC	勝分敗	勝点	得点	失点	得失点差	順位
E 1	センアール神戸Jr.(兵庫県)	/	4 ○ 0	0 △ 0	0 △ 0	1 勝 2 分 0 敗	5	4	0	4	1
E 2	ソレストレージャNARA2002(奈良県)	0 ● 4	/	1 △ 1	0 ● 2	0 勝 1 分 2 敗	1	1	7	-6	4
E 3	吹田千里FC(大阪府)	0 △ 0	1 △ 1	/	0 △ 0	0 勝 3 分 0 敗	3	1	1	0	3
E 4	なみはやFC(大阪府)	0 △ 0	2 ○ 0	0 △ 0	/	1 勝 2 分 0 敗	5	2	0	2	2

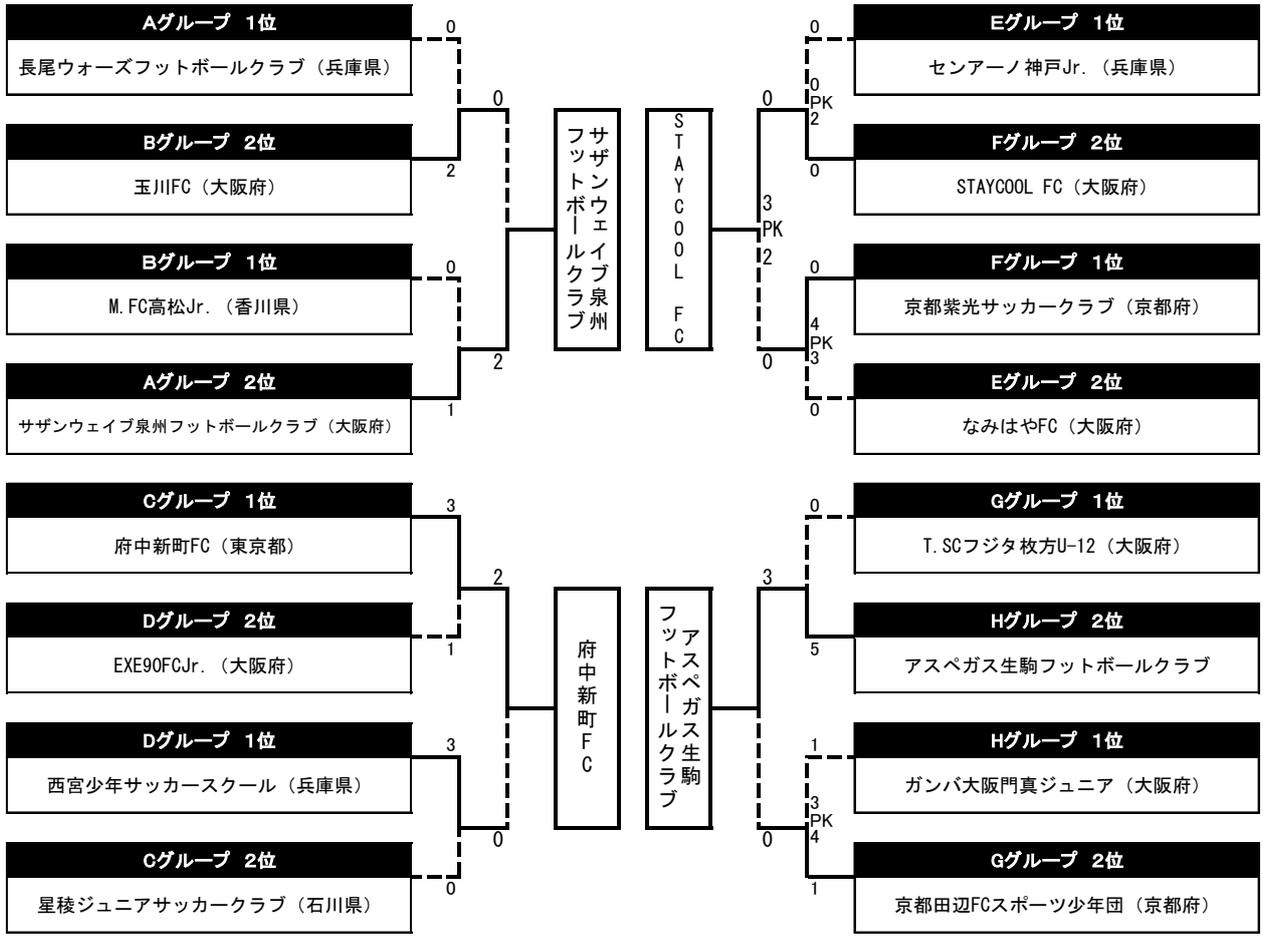
F	チーム名	長尾台サッカークラブ	STAYCOOL FC	京都紫光サッカークラブ	安満サッカークラブ	勝分敗	勝点	得点	失点	得失点差	順位
F 1	長尾台サッカークラブ(兵庫県)	/	0 ● 3	0 ● 4	2 △ 2	0 勝 1 分 2 敗	1	2	9	-7	4
F 2	STAYCOOL FC(大阪府)	3 ○ 0	/	0 ● 2	2 ○ 1	2 勝 0 分 1 敗	6	5	3	2	2
F 3	京都紫光サッカークラブ(京都府)	4 ○ 0	2 ○ 0	/	2 ○ 0	3 勝 0 分 0 敗	9	8	0	8	1
F 4	安満サッカークラブ(大阪府)	2 △ 2	1 ● 2	0 ● 2	/	0 勝 1 分 2 敗	1	3	6	-3	3

G	チーム名	京都田辺FCスポーツ少年団	段上サッカークラブ	伏山台フットボールクラブ	T・フジタSC枚方 U-12	勝分敗	勝点	得点	失点	得失点差	順位
G 1	京都田辺FCスポーツ少年団(京都府)	/	2 ○ 1	3 ○ 1	0 ● 1	2 勝 0 分 1 敗	6	5	3	2	2
G 2	段上サッカークラブ(兵庫県)	1 ● 2	/	1 △ 1	0 ● 5	0 勝 1 分 2 敗	1	2	8	-6	4
G 3	伏山台フットボールクラブ(大阪府)	1 ● 3	1 △ 1	/	0 ● 1	0 勝 1 分 2 敗	1	2	5	-3	3
G 4	T・フジタSC枚方 U-12(大阪府)	1 ○ 0	5 ○ 0	1 ○ 0	/	3 勝 0 分 0 敗	9	7	0	7	1

H	チーム名	ガンバ大阪門真ジュニア	ユナイテッド平野SC	アスベガス生駒フットボールクラブ	BROOKS Jr FOOTBALL CLUB	勝分敗	勝点	得点	失点	得失点差	順位
H 1	ガンバ大阪門真ジュニア(大阪府)	/	4 ○ 0	0 △ 0	2 ○ 0	2 勝 1 分 0 敗	7	6	0	6	1
H 2	ユナイテッド平野SC(大阪府)	0 ● 4	/	0 ● 3	1 ○ 0	1 勝 0 分 2 敗	3	1	7	-6	3
H 3	アスベガス生駒フットボールクラブ(奈良県)	0 △ 0	3 ○ 0	/	3 ○ 0	2 勝 1 分 0 敗	7	6	0	6	2
H 4	BROOKS Jr FOOTBALL CLUB(福岡県)	0 ● 2	0 ● 1	0 ● 3	/	0 勝 0 分 3 敗	0	0	6	-6	4



決勝進出チーム決定トーナメント





ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN 大会概要

- 大会名称 :ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN
- 主催 :ダノンネーションズカップ 2012 in JAPAN 実行委員会
- 主管 :財団法人東京都サッカー協会、財団法人愛知県サッカー協会、
社団法人大阪府サッカー協会
- 後援 :文部科学省、外務省、財団法人日本サッカー協会
- 特別協賛 :ダノンジャパン株式会社、ダノンウォーターズオブジャパン株式会社
- 協賛 :SPX フローテクノロジージャパン株式会社、
北関東トウエンティワン流通事業協同組合、鴻池運輸株式会社、清水建設株式会社、
ダイセイエブリー二十四株式会社、高砂熱学工業株式会社、株式会社竹中工務店、
日世株式会社
- 協力 :アディダスジャパン株式会社、凸版印刷株式会社、プラス株式会社

■大会趣旨

- ・世界大会でプレーできる切符を手にする機会を、日本の子供たちに広く提供する。
- ・サッカーを通じて、フェアプレー精神、チームワーク、他チームとの交流や親睦を図り、健全な心身を育てる場を提供する。
- ・サッカーを通じて、子供たちに社会貢献や国際交流に目を向けてもらう機会を提供する。

■大会日程

<予選大会>

- ・大阪会場予選 2012 年 3 月 4 日(日) 大阪府・J-GREEN 堺
- ・特別予選大会 in 宮城 2012 年 3 月 10 日(土) 宮城県・アディダススポーツパーク
- ・愛知会場予選 2012 年 3 月 18 日(日) 愛知県・豊田市運動公園
- ・東京会場予選 2012 年 3 月 25 日(日) 東京都・駒沢オリンピック公園総合運動場

<決勝大会>

2012 年 3 月 31 日(土)、4 月 1 日(日) 東京都・駒沢オリンピック公園総合運動場

■参加チーム数

<予選大会>

各予選会場 32 チーム× 3 会場(計 96 チーム)

特別予選大会 12 チーム

<決勝大会>

予選大会上位 12 チーム+特別予選大会上位2チーム+前年度決勝大会ベスト 18 チーム



ダノンネーションズカップについて

2000年から開催している FIFA 公認の U-12 サッカー世界大会であり、元フランス代表のジダン氏が大会のアンバサダーを務めています。現在は世界 40 カ国で予選を行い、250 万人以上の少年・少女が参加しています。2012 年の日本大会では、東京・愛知・大阪の 3 カ所で予選を行い、今秋ポーランドで行われる第 13 回世界大会に出場する日本の代表チームを決定します。

「ダノンネーションズカップ 2012 in Japan」ホームページ(<http://www.danonecup.jp>)

“東北応援プロジェクト”について

「ダノンネーションズカップ」は、単に小学生サッカー大会を実施するだけでなく、そこに集まる子どもたちに、社会貢献や国際交流に目を向けてもらうことも、大会趣旨の一つとしています。「東北応援プロジェクト」は、そうした大会趣旨に基づき、社会貢献の一環として、2011 年 3 月 11 日に起こった東日本大震災において主な被災地となった東北地方を、大会に参加するみんなと一緒に応援しよう、というプロジェクトです。

“特別予選大会 in 宮城”について

東日本大震災の発生から約 1 年。震災発生直後から比べると、被災地の状況は少しずつ変化を見せ、被災地のサッカーを愛する子どもたちにとっても、緊急物資が必要だった時期は過ぎ、今は「本気になってサッカーに挑む」、試合や大会などといった真剣勝負の場が求められています。そこで、2012 年大会においては、「東北応援プロジェクト」として、震災から 1 年後の 2012 年 3 月 10 日に、改めて震災で被害に遭った方々に対しての追悼の意を表すとともに、被災地の子どもたちが参加できるサッカー大会を開催することで、少しでも復興支援のお手伝いができれば、と考えました。

ダノンジャパンについて www.danone.co.jp

ダノンは、25 年以上にわたり、日本の消費者の皆様にも栄養価のあるチルド乳製品をお届けしています。今日では、「ダノンビオ」、「ダノンデンシア」、「プチダノン」、「ベビーダノン」、「ダノンヨーグルト」の製品を取り揃え、おいしさだけでなく、ヘルシーな食品をお届けしています。

ダノングループについて www.danone.com

ダノングループは、フォーチュン 500 に数えられ、世界において最も成功を収めているヘルシーな食品をお届けする企業のひとつです。世界中のできるだけ多くの人々に、食品を通じて健康をお届けすることを使命に掲げています。この使命を達成していくことが、ダノングループの継続的な力強い成長の原動力となっています。現在、全世界において五大陸 120 カ国以上で事業を展開しており、約 8 万人の従業員を擁し、約 160 の工場があります。2011 年度売上 193 億ユーロを誇り、チルド乳製品(世界第1位)、ウォーター(世界第2位)、乳幼児向け食品(世界第2位)、および医療用栄養食の 4 つのビジネスを核としたヘルシーな食品をお届けする企業として確固たる地位を築いています。

Euronext Paris 上場企業。社会貢献活動としては、Dow Jones Sustainability Index STOXX and World, ASPI Eurozone、Ethisel Sustainability Index に入っています。